

白木屋文書  
 B5 A-6  
 8-1 5-1 ~ 9  
 8-9

白木屋文書  
 A-6 B5  
 5-1 8-1

摘要	年代	内容	表題
三月五日付手紙一通 (嘉永四年) 包紙裏文書 手紙 嶋屋 佐右衛門 ↓ 浅見彦兵衛 御店中	嘉永五年三月五日 (一八五二)	江户本町 榎屋四郎左衛門様 奈良屋嘉左衛門様 要用貴報	書状 絹太織幅尺改之儀
	数量	坂本伝兵衛 三月五日の夜從 浅見彦兵衛 八幡山見玉町	
		八幡山町 絹商人中二枚 在中	

東京大学経済学部

摘要	年代	内容	表題
江户 榎屋四郎左衛門 他 八幡山見玉町 坂本伝兵衛 他 江户 榎屋藤左衛門 他 上州藤岡町 星野兵四郎 他 江户 榎屋四郎左衛門 他 上州藤岡町 星野兵四郎 他 江户 榎屋藤左衛門 他 京都 大文字屋正太郎 他 江户 榎屋四郎左衛門 他 熊谷 原口金右衛門 他 江户 榎屋四郎左衛門 他 熊谷 原口金右衛門 他 江户 榎屋四郎左衛門 他 熊谷 高野伊左衛門 他 江户 榎屋四郎左衛門 他 高崎 十一屋文治郎 他 江户 榎屋四郎左衛門 他 高崎 布袋屋善右衛門 他	嘉永四年 ~ 六年 (一八五二 ~ 一八五三)	絹太織 尺幅 五丈六尺 中 九寸七八分 と定め、相守るべし	(絹太織 尺幅 改之儀 一件 書状)
	数量	9	

東京大学経済学部

白木屋文書  
 三月五日付手紙一通  
 嘉永四年三月付口述(御機元衆中様  
 八幡山町 絹商人中) 一枚  
 包紙裏文書  
 手紙 鳩屋 佐右衛門 ↓ 浅見彦兵衛  
 御店中 正月二日  
 賞済  
 八幡山町 浅見彦兵衛

白木屋文書  
 A-6 B5  
 5-1 8-1

摘要	年代	内容	表題
三月五日付手紙一通 嘉永四年三月付口述(御機元衆中様 八幡山町 絹商人中) 一枚 包紙裏文書 手紙 鳩屋 佐右衛門 ↓ 浅見彦兵衛 御店中 正月二日	嘉永五年三月五日(一八五二)	絹太織幅尺改之義	江戸本町 榎屋四郎左衛門様 奈良屋嘉左衛門様 要用書報 坂本伝兵衛 浅見彦兵衛 三月五日の夜候 八幡山浅見町
	数量		

東京大学経済学部

口述

一 絹太織尺幅之儀前之定通出後出  
其和以要近來世上之衣類風神おかし  
是迄く尺幅之仕立方之旨之是法  
呉服屋之責持方不并理善文之趣  
勿論法方は織出數多し得共は度  
品之有くは間一列の中儀を考へ得共は度  
呉服屋の中より尺幅十分は織出  
其尺幅は機元市中に換入し及趣在

一 緒太織

幅九寸八分  
尺五丈六尺

一 登核目多に後出の里を素糸  
其後を其の度ききり

右之通相教奉間程私共一同に相教奉事  
其後出の緒河卒法念入後出に奉出  
其持方并理直自此是第一之國産絲  
其榮法因採難者奉入其奉入官官  
其成下其文は其直中其直出新緒より法改  
其後出に其下其採偏奉願上以上

亥ノ二月

六幡山町 緒商人中  
見玉町

緒機元衆中様

一白文の中  
緒機元衆中様

半れ未月乃佳  
妻也之疾之如  
此合中律也此業  
不のたをよをまき  
此七由都之在為始  
其儀陽之及之  
此の如くは由路母  
此の如くは之の如く  
今この書は之を  
此の如くは之の如く  
しよの如くは之の如く  
もこの如くは之の如く  
教る付く如くは之の如く  
此の如くは之の如く  
此の如くは之の如く  
此の如くは之の如く

今の世は昔と異なり  
人心の移り変わりが  
激しく、世の情勢も  
急激に変化している。  
我々が生きる上では  
常に世勢を観望し、  
自分の立ち回りを  
注意しなければならない。  
世の中は常に競争の  
場であり、勝つための  
力が必要である。  
我々が成功するため  
には、常に自分を磨き  
、世の中の流れに  
合わせる必要がある。  
世の中は常に変化の  
激しい場所であり、  
我々が生き残るため  
には、常に自分を磨き  
、世の中の流れに  
合わせる必要がある。  
世の中は常に競争の  
場であり、勝つための  
力が必要である。  
我々が成功するため  
には、常に自分を磨き  
、世の中の流れに  
合わせる必要がある。

不  
出  
行  
の  
名  
を  
今  
も

古  
語  
の  
一  
部  
を  
是

處  
部  
の  
名  
を  
今

も  
の  
名  
を  
今

も  
の  
名  
を  
今

も  
の  
名  
を  
今

も  
の  
名  
を  
今

も  
の  
名  
を  
今

も  
の  
名  
を  
今

名  
を  
今

名  
を  
今

名  
を  
今

名  
を  
今

名  
を  
今

二  
月  
也

名  
を  
今

名  
を  
今

名  
を  
今